

## 就労支援機関等に対するヒアリングについて

機関名 障害者就業・生活支援センター ティーダ&チムチム

地域の就労支援の在り方を検討するに当たって、以下の質問について、下記の枠内に簡潔にお答えください。なお、参考資料を添付する場合であっても、ご回答は枠内に記載していただくよう、お願いします。

《貴機関に係る地域の就労支援機関の実情・課題等についてお答えください》

- ①-1 貴機関が活動する地域において、福祉施設の障害者や特別支援学校卒業者について、企業への就労（雇入れ、職場定着を含む）をさらに進めるための課題はなんですか。貴機関、貴機関以外の他の就労支援機関、その他の課題ごとにお答えください。

**（貴機関の課題）**

当該地域では働ける人材が減少しており、就労移行支援事業所との連携が必須になっている。又福祉施設や医療機関、特別支援学校の中での企業の中で「働くこと」を意識した訓練を強化する必要もあるが、一方で教える側の課題も大きい。

面接や定着支援においては、ハローワークとの連携が行なわれているものの、雇用率未達成事業所へのアプローチは連携が無い。（以前は同行していた）。

**（他の就労支援機関の課題）**

8箇所就労移行支援事業所が存在しているが「企業で働くこと」を育てるという意識が充分ではなく、安心して連携できる事業所は少ない。

ほとんどの事業所がこれまでの経験のある知的障害者や身体障害者の受け入れは行なうが、精神障害者の受入は厳しいとしている傾向にある。

自立支援協議会の就労部会等でサービス管理責任者研修等を行なうが、そのカリキュラムの見直しやサビ管の指定要件の見直しが必要ではないかと考えている。

**（上記以外の課題）**

現在の配置職員では、新規支援や定着支援を決め細かくできる状況ではない。

①-2 ①-1 のほか、障害特性ごとの課題はありますか。あるとすればどういった課題がありますか。

精神障害者：短時間労働者（雇用率へ換算されない）

②-1 ①の課題を克服するため、地域の就労支援機関の連携・ネットワークの構築が重要だと考えられますが、貴機関が活動する地域において、他の就労支援機関との間で、どういった役割分担で、どういった連携・ネットワークを構築していますか。

インテーク面接は、相談支援事業や医療機関と連携、他の就労支援機関との求人情報の共有や人材とのマッチングの調整を行っている。

職場実習から定着支援においては、企業の負担や混乱をさけるために支援機関を統一（主になかぽつ）が行なっている。就労移行支援事業所からスムーズな支援の移行を調整している。

また、月1回、相談支援事業所とハローワークで定例会の開催している。

②-2 地域の就労支援機関と連携・ネットワークを構築するに当たって苦労した点はなんですか。また、連携・ネットワークを維持・強化していくための課題（阻害要因）はなんですか。

（連携・ネットワークの構築に当たって苦労した点）

福祉側との「就労支援」の考え方の相違を感じている。

○生活支援と就労支援が一体的であるべきとはするものの、「生活支援」に偏っている傾向にある。

（連携・ネットワークの維持・強化のための課題（阻害要因））

特になし

《就労支援機関での活動経験を踏まえたご意見・お考えをお答えください》

- ③-1 就労支援機関による連携・ネットワークがない地域において、新たに就労支援機関による連携・ネットワークを構築するためには、どういった方策が有効だと考えますか。

社会資源としての機関や支援者のつながりも大事であるが、支援対象者に合わせた機能的で有効的に連携するマイクロネットワークが大切である。マクロネットワークはコーディネーターの役割が重要である。

- ③-2 すでに就労支援機関による連携・ネットワークがある地域において、今後、どういった点を充実・強化すべきと考えますか。

ネットワークが広がる事でおきる弊害もあり、情報の共有を密にしなければ企業の負担感につながる。

- ④ 就労支援機関のネットワークを構築する中で、企業に求める役割はありますか。あるとすれば具体的にどんな役割を求めますか。

障害者本人と教育、福祉関係の支援者に対して、「企業で働く為に必要な社会性やスキル、心得」などのフィードバックをお願いしたい。

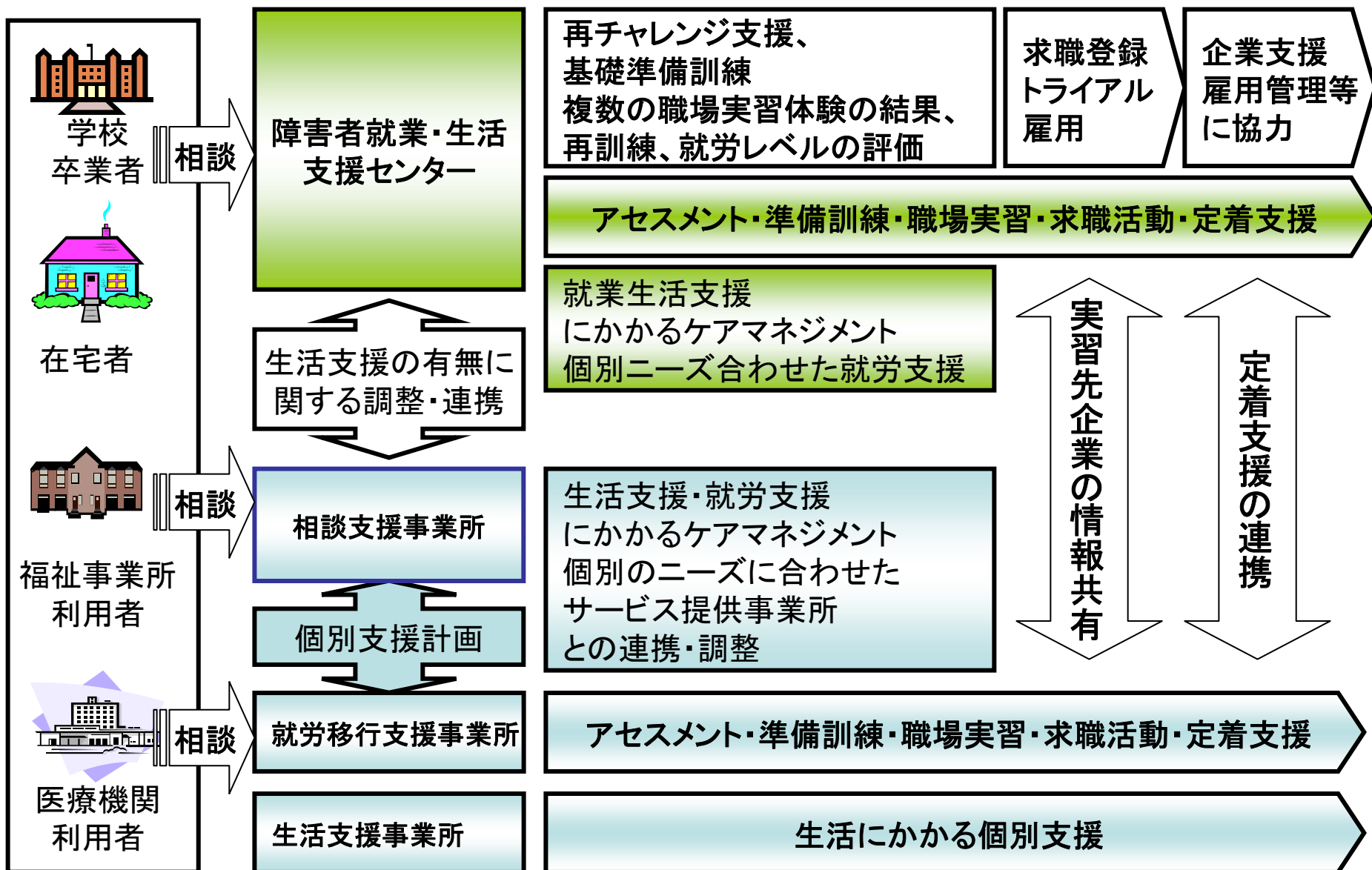
以上、ご協力ありがとうございました。

# 参考資料①(沖縄北部地域)

## 地域就労支援ネットワーク概念図

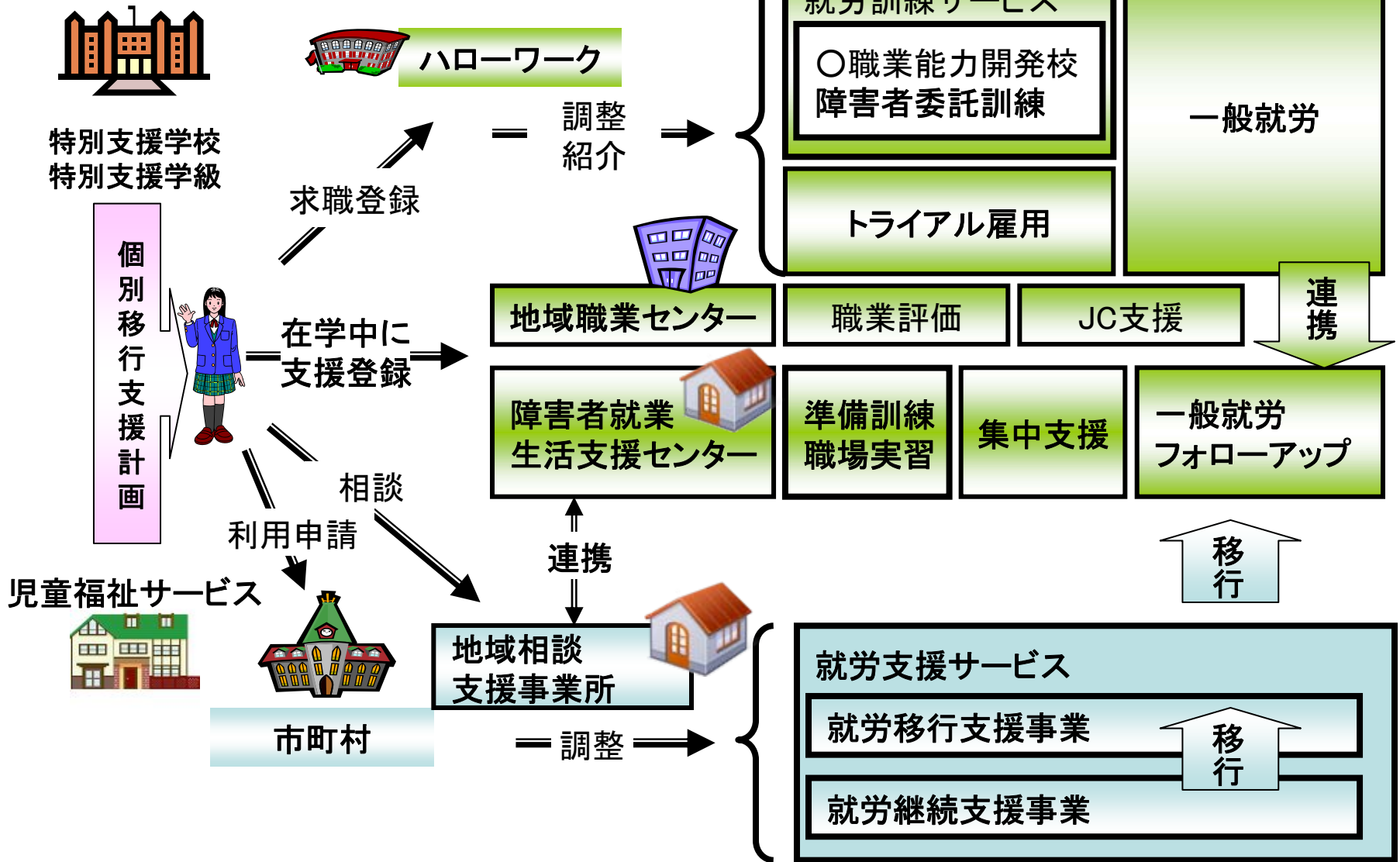
労働

福祉



# 参考資料②(沖縄北部地域) 学齢期からの就労移行の場合

教育 労働 福祉



## 参考資料③(沖縄北部地域)

### 利用者から見える関係機関の機能と役割は

- どこの機関が入り口でも利用者の必要な相談機関につなぐしくみ
- 利用者個別の必要な支援に応じたチーム編成を可能するしくみ
- 利用者に対して相談支援者の役割理解ができるしくみ
- 機関相互の役割を明確にする

教育⇒教育コーディネーター、進路担当者

福祉⇒相談専門員、サービス管理責任者

障害者就業生活支援センター⇒就労支援ワーカー、生活支援ワーカー

職業センター⇒職業カウンセラー、ジョブコーチ

ハローワーク⇒特別援助部門担当者